

ISSN 0288-139X

---

# 水草研究会会報

---

46号 (1992年4月)



Bulletin of Water Plant Society, Japan

No. 46 (Apr. 1992)

水草研究会

## 目 次

内山 寛・入船浩平・中田政司・陳 瑞陽・邱 均専・田中隆荘：1989年度日中協同研究 による中国華中地方における水草の観察	1
下田路子：西条盆地（広島県）のボタンウキクサ	5
浜島繁隆・倉内一二・中西 正：神野新田（豊橋市）とその周辺干拓地の農業用水路の植生	7
角野康郎：兵庫県東播磨地方の冬緑性アオウキクサ属植物	11
外山雅寛：蝦夷ヶ島時代に記録された水生植物への照射より得られた知見～ 特に注目される暖地性－熱帯性植物について	15
久米 修：香川県におけるオニバスの生育状況 2	23
南 敦・阿武至朗・加賀谷美枝子：山口県秋吉台カルストから生じる湧泉などの植物	28
短 報 南 敦：山口県周防南部の池沼・河川の水草（その3）	29
橋本卓三：オニバス種子の発芽観察	33

文献リスト，他

### 〔表紙写真〕 ミツガシワ

「春の水草は何だろう」と考えてミツガシワを選んだ。北日本では各地に分布する水草であるが、西南日本にも遺存分布と考えられる産地が何ヶ所か知られている。しかし、それらの産地も開発のために失われた所が多い。京都市の深泥池は、十数万年前から続く湿原として天然記念物に指定されているが、4月になるとミツガシワの満開が生物たちの活発な活動期の始まりを告げる。その開花前線の北上とともに本格的な春がやってくる。

（角 野 康 郎）